

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
1	1	ヨツコブツノゼミの顔	ブラジル 1992年	南米に棲む胸部にたいへん奇妙な飾りをつけたツノゼミ。	インクジェット・プリント
2	2	ラフレシアの内部	インドネシア 1989年	臭気たばようドーム(つぼ)の内部で回転するオビキンバエ。	インクジェット・プリント
3	3	ラフレシア	インドネシア 1989年	直径90センチもある巨大な花は、あやしいばかりに美しい。	発色現像印画紙
4	4	オオアカエリトリバネアゲハと少年	フィリピン 1982年	可憐な天使が、現地の子どもによって捕らえられた。	インクジェット・プリント
5	5	アカエリトリバネアゲハの集団吸水	マレーシア 1989年	渓谷の沢から出る熱い温泉水を吸うために降りてくる。	インクジェット・プリント
6	6	夜空に光るホタル	インドネシア 1990年	未知の物体が、夜空に向けて信号を送り続けているようだ。	発色現像印画紙
7	7	ホタルの集団発光	インドネシア 1990年	幾万とも知れぬホタルが、20メートルほどの高さの巨木に集まる。	インクジェット・プリント
8	8	サンヨウベニボタルのメス	マレーシア 1987年	メスは幼虫の姿のまま成熟する。オスはメスの数分の一の大きさ。	発色現像印画紙
9	9	ムナキキベリボタル	パプアニューギニア 1990年	瞬間的に明滅する光は、日本のヒメボタルに似ている。	発色現像印画紙
10	10	ハナカマキリの幼虫	マレーシア 1989年	ランの花の中に身を潜めて、獲物を待ちかまえる幼虫。	発色現像印画紙
11	11	オオカレエダカマキリ	マレーシア 1989年	胸部が細長くわん曲し、体全体が枯れ枝のように見えてくる。	インクジェット・プリント
12	12	メダマカレハカマキリ	マレーシア 1992年	翅の裏側にある9の数字に似た鮮やかな模様を見せる。	発色現像印画紙
13	13	ヒラタツコムシ	マレーシア 1989年	体を扁平にして、葉の上にべったりと密着してかくれる。	発色現像印画紙
14	14	マルバネオオテントウダマシ	マレーシア 1989年	サルノコシカケの裏に群れている、大型のテントウダマシ。	発色現像印画紙
15	15	バイオリンムシ	マレーシア 1989年	サルノコシカケに集まり、それを食べて暮らしている。	発色現像印画紙
16	16	ムツモンオオキノコ	コロンビア 1983年	熱帯雨林に棲む、山吹色の美しい斑紋をもつキノコムシ。	発色現像印画紙
17	17	ロブストゥスオオカメムシ	マレーシア 1992年	人家の周辺などの開けたところに見られる。	発色現像印画紙
18	18-1	ルリマダラのサナギ	マレーシア 1989年	葉の裏の色と、付近の光を吸収して、淡い緑色になっている。	発色現像印画紙
19	18-2~13	変色するルリマダラのサナギ	マレーシア 1992年	色紙を置いてみたら、色はサナギの表面に、見事に映し出された。	発色現像印画紙
20	19-1~3	トビエダカマキリの表情	マレーシア 1989年	接近すると一瞬にして食べられてしまいそうな緊張感に満ちている。	インクジェット・プリント
21	20	ハキリアリ	パナマ 1993年	小枝をわたるハキリアリの行列。葉を持っていないハキリアリは番兵役。	発色現像印画紙
22	21	ハキリアリの道	パナマ 1993年	熱帯雨林の地表に延々と続く働きアリの道。	発色現像印画紙
23	22	ハキリアリの女王	パナマ 1993年	巣の中心部にいる巨大な女王は、卵を産み続ける。	発色現像印画紙
24	23	ハキリアリの巣	パナマ 1993年	地下につくられた、キノコを栽培するための巣部屋。	発色現像印画紙
25	24	シロアリ	ケニア 1983年	兵隊アリが入り口付近を警戒している。	発色現像印画紙
26	25	シロアリの女王	マレーシア 1989年	働きアリからエサをもらう。	発色現像印画紙
27	26	シロアリの女王	マレーシア 1989年	王室の中で巨大な腹部を横たえる。	発色現像印画紙
28	27	アリノスジミのサナギ	インドネシア 1996年		発色現像印画紙
29	28	ミツツボアリ	オーストラリア 1994年	腹部に蜜を蓄えて、貯蔵役にまわった働きアリ。	インクジェット・プリント
30	29	メリディオナリスシロアリの塚	オーストラリア 1993年	無数に立ち並ぶ光景は西洋の墓地を連想させる。	インクジェット・プリント
31	30	アシナガバチとハチドリ	コスタリカ 1993年	ヘリコニアの花にやってきたアシナガバチと蜜を取り合うハチドリ。	インクジェット・プリント
32	31	バラトゲツノゼミ	コスタリカ 1993年	バラの棘に擬態して、天敵の目をごまかす。	発色現像印画紙
33	32	キイロツノギスの顔	コスタリカ 1993年	一角獣のような顔には、愛嬌のある目玉がついている	インクジェット・プリント
34	33	アフリカタマオシコガネ	ケニア 1985年		インクジェット・プリント
35	34	アフリカタマオシコガネのペア	ケニア 1986年	ソフトボール大の糞球を転がすオスと、それに乗っているメス。	インクジェット・プリント
36	35	アフリカタマオシコガネ	ケニア 1984年	糞球を逆さまのかっこうで、後脚と中脚とでボールを蹴るように転がす。	発色現像印画紙

- ・ 作品はすべて今森光彦の所蔵である。
- ・ 作品図版のキャプションは、作家から提供された資料に基づき、作品番号、タイトル、撮影地・撮影年、コメントを記載した。

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
37	36	地下室のアフリカタマオシコガネ	ケニア 1987年	地下で卵を産み終え、糞球を完成させた母虫。	発色現像印画紙
38	37	アフリカタマオシコガネの育児ボール	ケニア 1988年	鈴形の糞球に1個ずつ産卵される。	発色現像印画紙
39	38	育児ボールの断面	ケニア 1987年	卵は楕円形の小部屋に立っている。	発色現像印画紙
40	39	アフリカタマオシコガネ	ケニア 1988年	地下の部屋で、卵を産みつけた糞球の世話をする。	インクジェット・プリント
41	40	サバクワタリバッタの群れ	セネガル 1988年	バッタの大群を村の子どもたちは走り回って追い払う。	インクジェット・プリント
42	41	サバクワタリバッタの幼虫	セネガル1988年	こずえの葉を食べるためにバオバブの幹をよじのぼる。	発色現像印画紙
43	42	サバクワタリバッタの飛行	モーリタニア1988年	気流にのって群れながら遠くまで飛翔する。	発色現像印画紙
44	43	サバクワタリバッタ	セネガル1988年	成虫になったばかりで、ほのかにピンク色を帯びている。	発色現像印画紙
45	44	キサントパンスズメガと彗星ラン	マダガスカル 1990年	羽ばたきながら、アングラエクム・セスキペダレに長い口吻を入れる。	インクジェット・プリント
46	45	ツチバチのメスに擬態するハンマーオーキッド	オーストラリア 1991年	オスバチがメスと勘違いして連れ去ろうとすると、ちょうつがい回転し、花粉がつく。	インクジェット・プリント
47	46-1~3	ドラゴンオーキッド	オーストラリア 1991年	ツチバチのメスによく似た花芯をもつ。	インクジェット・プリント
48	47	オオオニバスの中のスジコガネモドキ	ブラジル 1987年	花芯には甘い香りのする肉質が並んでいる。	発色現像印画紙
49	48	オオオニバスの中のスジコガネモドキ	ブラジル 1987年	2日目にふたたび開花した花の断面。スジコガネモドキに食べ荒らされている。	発色現像印画紙
50	49	スジコガネモドキ	ブラジル 1987年	開花したオオオニバスから花粉をつけて飛び出す。	発色現像印画紙
51	50	スタウロフラグマナミシャクの幼虫	ハワイ 1993年	目にもとまらない速さで身をひるがえし、昆虫を捕獲する。	発色現像印画紙
52	51	スタウロフラグマナミシャクの幼虫	ハワイ 1993年	ハワイ特産のヒメカゲロウを捕食する。	発色現像印画紙
53	52-1~18	アメリカシロヒトリの幼虫の集団食餌行動	アメリカ 1991年		発色現像印画紙
54	53	17年ゼミ、セブテンデキュラの羽化	アメリカ 1998年	17年に一度だけ、同じ地域で一斉に羽化する。	インクジェット・プリント
55	54	17年ゼミ、セブテンデキュラ	アメリカ 1998年	大量に庭の果樹にむらがると、鳴き声で人の声が聞こえなくなるほど。	インクジェット・プリント
56	55	オオカバマダラ	メキシコ1990年	越冬地の付近を優雅に群れ飛ぶ。	発色現像印画紙
57	56	木から落ちたオオカバマダラ	メキシコ1990年	落下したチョウは、気温が低いためすぐには飛び立てない。	発色現像印画紙
58	57	オオカバマダラの集団越冬	メキシコ1990年	どのチョウも同じ方向を向いて整然とまとまっている。	インクジェット・プリント
59	58	ヒカリキノコバエの幼虫	ニュージーランド 1993年	真っ暗な洞窟で光る様子は、天の川の星のよう。	インクジェット・プリント
60	59	ヒカリキノコバエの幼虫	ニュージーランド 1993年	粘液のついた糸を天井から下げて、光に集まる小昆虫を捕らえて食べる。	発色現像印画紙
61	60	メガエラスズメガ	マダガスカル 1990年	直線的でダイナミックな飛翔をする。	発色現像印画紙
62	61	マダガスカルオナガヤマユガ	マダガスカル 1990年	シルバーメタリックのまゆから顔を出す。	インクジェット・プリント
63	62	マダガスカルオナガヤマユガ	マダガスカル 1990年	特産種で、長さが25センチをこえる巨大なガ。	発色現像印画紙
64	63	スラカヤマユガ	マダガスカル 1990年	はだか電球の明かりに誘われて、闇の中から現れた。	インクジェット・プリント
65	64	ルプレッセンズメダマヤマユガ	コスタリカ 1993年	前翅をあげると、見事な目玉模様が現れる。	インクジェット・プリント
66	66	アカメガネトリバネアゲハ	インドネシア1996年	ハルマヘラ島に棲む豪華なチョウ。オレンジ色が美しい。	発色現像印画紙
67	67	オビクジャクアゲハ	マレーシア1987年	熱帯雨林の下で翅を休める。金緑色がとても鮮やか。	発色現像印画紙
68	68	ナルキサスミイロタテハ	ブラジル 1992年	「ジャングルの宝石」と呼ばれる珍チョウ。	発色現像印画紙
69	69	ヘレナキシタアゲハ	マレーシア 1992年	シマヒゲリの花を訪れた。人家の近くで見られる。	発色現像印画紙
70	70	フチドリシジミタテハ	ペルー 1987年	橙色の翅の模様が印象的なシジミタテハ。翅をひらいてとまる。	発色現像印画紙
71	71	イリオネウスフクロウチョウ	ブラジル 1983年	アマゾン川の夕暮れとともに活動する時間がやってきた。	インクジェット・プリント
72	72	ナンヨウアカスジヨコバイ	ブラジル 1992年	水色と紅色のストライプ模様が美しいヨコバイ。	発色現像印画紙

・作品はすべて今森光彦の所蔵である。
 ・作品図版のキャプションは、作家から提供された資料に基づき、作品番号、タイトル、撮影地・撮影年、コメントを記載した。

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
73	73	シブイロマダラヨコバイ	ブラジル 1983年	まだら模様が印象的なヨコバイ。熱帯雨林に棲む。	発色現像印画紙
74	74	アマソナスキイロヨコバイ	ブラジル 1988年	オレンジ色が美しいヨコバイ。葉の上にいるとよく目立つ。	発色現像印画紙
75	75	クロトゲツノグモ	マレーシア 1992年	胸部に鋭い棘をもっているが、刺したりはしない。	発色現像印画紙
76	76	クロトゲボウシツノゼミ	インドネシア 1987年	頭巾をかぶったように見えるユニークなツノゼミ。	発色現像印画紙
77	77	トゲツノゼミ	コスタリカ 1993年	植物の棘を真似るツノゼミで、よく飛び跳ねる。	発色現像印画紙
78	78	ミツコブツノゼミ	ブラジル 1987年	何となく植物の棘に見えるツノゼミ。単独で行動する。	発色現像印画紙
79	79	ムネトゲボウバツタのオス(右)とメス(左)	ブラジル 1992年	体長は20センチをこえる巨大さ。一度見たら忘れられない。	インクジェット・プリント
80	80	ユカタンピワハゴロモの頭部	コスタリカ 1983年	ワニの顔をもつという奇怪な顔をしたハゴロモ。ブラジル、コロンビアなどにも見られる。	発色現像印画紙
81	81	コンボウピワハゴロモ	マレーシア 1992年	ヤスリのような頭部をもつ風変わりなハゴロモ。	発色現像印画紙
82	82	ナルボンヌのドクグモ	フランス1989年	威厳に満ちた顔をもつクモ。地中海地方に見られる。	発色現像印画紙
83	83	フタオピカブツノゼミ	ブラジル1988年	木のひこばえなどの、植物の若い枝や葉にやってくる。	発色現像印画紙
84	84	バティックハタフリツノゼミ	インドネシア1978年	やや標高の高い森に見られる風変わりなツノゼミ。	発色現像印画紙
85	85	サンゴツノゼミ	ブラジル1988年	植物の枝にとまっているのを偶然見かけることが多い。	発色現像印画紙
86	86	メンガタグモ	マレーシア 1992年	腹部の模様が、お面のようにひょうきんに見えるクモ。	発色現像印画紙
87	87	クチヒゲオオゾウムシ	ブラジル 1987年	胸部から頭部にかけて金色の毛をもつゾウムシ。	発色現像印画紙
88	88	ジンメンカメムシ	マレーシア 1992年	背中模様が、人面に見える風変わりなカメムシ。	発色現像印画紙
89	89	ドクガの一種の幼虫	ブラジル 1988年	毛に覆われた不思議な姿をしている。	発色現像印画紙
90	90	ジガバチの一種	ケニア 1984年	スズメガの幼虫を狩って巣に運び、子どものエサにする。	発色現像印画紙
91	92	オオメンガタブラベルスゴキブリ	ブラジル 1983年	世界最大のゴキブリ。体長80ミリもある。	発色現像印画紙
92	93	イチゴハムシ	インドネシア 1974年	人家の近くにいた、鮮やかな赤と艶がとても美しいハムシ。	発色現像印画紙
93	96	ガガンボモドキの交尾	オーストラリア 1993年	オス(右)がメス(左)に獲物をプレゼントする瞬間。	発色現像印画紙
94	101	ジャイアントアント	ブラジル 1987年	熱帯雨林に棲む、毒針をもつアリ。刺されると強烈に痛い。	発色現像印画紙
95	102	コーカサスオオカブトムシ	マレーシア 2002年	東南アジア最大のカブトムシ。喧嘩は迫力がある。	発色現像印画紙
96	103	ヘラクレスオオカブトムシ	コロンビア1983年	中南米の熱帯雨林に棲む、世界最大のカブトムシ。	発色現像印画紙
97	104	オウゴンオニクワガタ	マレーシア1992年	本物の金のような質感をもつ。	発色現像印画紙
98	105	ニジイロクワガタ	オーストラリア1994年	世界で最も美しいクワガタムシといわれる。	発色現像印画紙
99	106	セラムドウナガテナガコガネ	インドネシア 1995年	セラム島に棲む、橙色の美しいテナガコガネ。	発色現像印画紙
100	107	シカツノミドリエンマコガネ	ケニア1984年	アフリカゾウの糞に集まってくる小型の糞虫。	発色現像印画紙
101	108	クロツヤカブトエンマコガネ	ケニア1985年	兜のような角がすばらしい糞虫。サバンナに棲む。	発色現像印画紙
102	109	マノハナカマキリ	ケニア1990年	絹を裂くような音とともにカマを広げて威嚇する。	インクジェット・プリント
103	110	コノハムシ	マレーシア1999年	葉に質感がそっくりで、見事に隠れてしまう。	発色現像印画紙
104	112	イシバツタの幼虫	オーストラリア1991年	砂地のひろがる草地に棲む幼虫。色や模様は個体によって変化がある。	発色現像印画紙
105	113	マルムネカマキリ	パナマ1993年	胸部が平たくひろがったカマキリ。美しい緑色をしている。	発色現像印画紙
106	115	キノボリカレハバツタ	マレーシア1989年	朽ちかけた葉にそっくりなバツタ。ゆらゆらと風にゆれるように歩く。	発色現像印画紙
107	117	キノハダカレハ	コスタリカ1993年	サルノコシカケのような菌類におかされた朽ち木の表面にとまっている。	発色現像印画紙
108	118	オオベニハゴロモ	マダガスカル 1990年	いつもこのように集団でいる。体の透明感だけでなく、並び方まで、マメ科植物の花にそっくりだ。	発色現像印画紙

- ・ 作品はすべて今森光彦の所蔵である。
- ・ 作品図版のキャプションは、作家から提供された資料に基づき、作品番号、タイトル、撮影地・撮影年、コメントを記載した。

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
109	119	スズメガの一種の幼虫	マダガスカル 1990年	美しい目玉模様をもった幼虫。顔のように見える。	発色現像印画紙
110	120	ツムギアリ	マレーシア 1974年	怒ると、腹部をあげて、相手に蟻酸をふりかける。	発色現像印画紙
111	121	ホソヘリカメムシの一種の幼虫	ブラジル 1992年	姿や形だけではなく、歩き方や触角の動かし方もアリにそっくりだ。	発色現像印画紙
112	123	カマキリの一種	マレーシア1992年	カマを振りかざして威嚇する。敵に体を大きく見せている。	発色現像印画紙
113	124	アンブレラツユムシ	マレーシア1993年	驚くと、鮮やかな後翅をひろげて威嚇する。	発色現像印画紙
114	125	シロゼミ	マレーシア1987年	半分が白く、半分が透明な翅をもったセミ。	発色現像印画紙
115	126	キリギリスの誕生	1981年	おいしそうな葉が伸びるのを待って、いつもちゃっかり現れる。	インクジェット・プリント
116	127	ハラビロカマキリ	2006年	花にやってくる小昆虫を待つ。里山に普通に見られる。	インクジェット・プリント
117	128	ヒゲナガハナバチ	1980年	ミツバチに似ているが触角が長いのが特徴。	発色現像印画紙
118	129	ヤマトケアシハナバチ	2000年	敏捷に飛び、ルピナスやハギの花をさかんに訪れる。	インクジェット・プリント
119	130	コハナバチ	1989年	土手に生えたクサボケの花にやってきた。	発色現像印画紙
120	131	ホシホウジャク	1988年	ホバリングしながら、長い口吻をのばして花を訪れる。	発色現像印画紙
121	132	タガメの産卵	1990年	オスとメスがペアになって、交尾を繰り返しながら産卵する。	発色現像印画紙
122	133	オオカマキリのふ化	1992年	ひとつの卵のうからは、200匹ほどの幼虫がふ化する。	発色現像印画紙
123	134	タイコウチのふ化	1981年	卵の先がキャップのようにとれて、中から幼虫が出てくる。	発色現像印画紙
124	135	アメンボのふ化	1985年	水中でふ化する。ふ化後は、すぐに水面に浮かぶ。	発色現像印画紙
125	136	虫の卵		虫の卵は大変個性的。「卵の形をした」という表現は通用しない。	発色現像印画紙
126	137	ヨウシュミツバチ	1985年	蜜を体のために働きバチが巣箱にもどってきた。	インクジェット・プリント
127	138	ツマグロオオヨコバイ	1999年	汁を吸いにチューリップの茎にやってきた。	発色現像印画紙
128	139	ナミアゲハの幼虫	1990年	雨の日、幼虫の体は、水をはじいていた。	発色現像印画紙
129	140	アオモンイトトンボ	1998年	イトトンボは、ハートの形になって交尾する。	発色現像印画紙
130	141	トビモンオオエダシャクの幼虫	1997年	コナラの枝に擬態する。	発色現像印画紙
131	142	フタモンアシナガバチ	1982年	巣から水を吸い取って、外にはき出す母バチ。	インクジェット・プリント
132	143	サラサヤンマ	1986年	縄張り飛行のとき、たびたびホバリングを繰り返す。	発色現像印画紙
133	144	マルタンヤンマ	1990年	成熟したオスは、ブルーの複眼と縞模様が極めて美しい。	発色現像印画紙
134	145	アミメアリとアリマキ	1987年	アリマキが分泌する蜜を吸うためにやってきたアミメアリ。	発色現像印画紙
135	146	ハナグモとアブの一種	1989年	エゴノキの花の下で、アブを捕らえた。	発色現像印画紙
136	148	光るゲンジボタル	1986年	日没後、光りだしたゲンジボタル。その光は幻想的。	インクジェット・プリント
137	149	ギンヤンマの羽化	1987年	夜、ため池の水面から出た竹の杭に登って羽化する。	インクジェット・プリント
138	150	シオヤアブ	1995年	俊敏に飛ぶシオヤアブは、複眼が虹色に輝く。	インクジェット・プリント
139	151	モンキアゲハ	1991年	人家の垣根に植えられたハイビスカスの花にやってきた。	発色現像印画紙
140	152	クロオオアリとアリマキ	1988年	アリマキが分泌する甘い蜜を求めてやってきた。	発色現像印画紙
141	154	ナガコガネグモ	1986年	秋、暗闇の中で産卵し、卵のうをつくる。	発色現像印画紙
142	155	ケラ	1989年	土の中から顔を出す姿は、モグラのようだ。	発色現像印画紙
143	156	ヤマトハキリバチ	1986年	葉を切り取り巣へ運ぶ。巣の内側を葉で囲み、花粉を集めて産卵する。	発色現像印画紙
144	157	スミナガシの幼虫	1985年	ピエロのような顔をしている。	発色現像印画紙

- ・ 作品はすべて今森光彦の所蔵である。
- ・ 作品図版のキャプションは、作家から提供された資料に基づき、作品番号、タイトル、撮影地・撮影年、コメントを記載した。

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
145	158	ヤマユガの幼虫	1986年	葉と同じように体も透ける。	発色現像印画紙
146	159	アオバセリの幼虫	1985年	ナナホシテントウにそっくりな顔。	発色現像印画紙
147	160	ハンミョウ	1987年	歯が鋭く、怖い顔をしている。	発色現像印画紙
148	161	ヒトリガの幼虫	1987年	銀色の毛が美しい。	発色現像印画紙
149	162	シロフアブ	1986年	球形をした丸い顔は、複眼で覆われている。	発色現像印画紙
150	163	オカダンゴムシ	1989年	おっとりした表情に見える。	発色現像印画紙
151	164	ツチイナゴの幼虫	1988年	アイラインが印象的。	発色現像印画紙
152	165	オオカマキリ	1987年	何かを企んでいるような表情。	発色現像印画紙
153	166	トノサマバツ	1986年	殿様の名に負けない、威厳のある顔。	発色現像印画紙
154	167	シロスジカマキリ	1985年	大あごが、刃物のように鋭い。	発色現像印画紙
155	168	オオゴマダラエダシャクの幼虫	2000年	嘘の顔をみせて、天敵を惑わす。	発色現像印画紙
156	169	ウラギンシジミの幼虫	1987年	おしりに角をもつ。怒ると銀色のブラシを出す。	発色現像印画紙
157	170	マイマイガ	1987年	長い触角は、まるでウサギ。	発色現像印画紙
158	171	ノコギリクワガタ	1986年	初夏の雑木林は濃密な香りが満ちあふれている。	インクジェット・プリント
159	172	オオムラサキとノコギリクワガタ	1988年	オオムラサキがやってきて、警戒するノコギリクワガタ。	発色現像印画紙
160	173	ヤマユガ	1987年	大きな触角が、ぬいぐるみのようで何となく可愛い。	インクジェット・プリント
161	174	チョウトンボ	1988年	翅が、紺色から緑色に変色する美しいトンボ。	発色現像印画紙
162	175	エダナナフシ	1985年	雑木林の中に、エダナナフシの影がくっきりと浮かぶ。	発色現像印画紙
163	176-1~16	アブラゼミの羽化	1983年	ゼミの一生の中で一番美しいのは羽化のとき。透き通った体はとても繊細。	発色現像印画紙
164	177	トノサマバツの羽化	1981年	マクワウリが実る頃、羽化はピークを迎える。	インクジェット・プリント
165	178	オンバツ	2005年	オスがメスの背中におんぶされるように乗っていることが多い。	インクジェット・プリント
166	179	アキアカネ	1982年	秋風によって連結飛行。	インクジェット・プリント
167	181-1~7	ショウリョウバツのひげ時計	1986年	ひげにそっと触れてみると、ピクッと動いて、ピタッと止まる。いま何時かな？	発色現像印画紙
168	182	石の隙間で鳴くスズムシ	1987年	翅を立て震わせながら鳴く。翅は、ガラスのように半透明。	インクジェット・プリント
169	183	アオマツムシ	1984年	外来種で、街路樹などを伝って分布をひろげている。	発色現像印画紙
170	184	クロシジミの幼虫とクロオオアリ	1983年	クロオオアリからエサをもらって成長する。	発色現像印画紙
171	185	フタモンアシナガバチ	1983年	アオイトトンボを捕食する。人家や土手に巣をつくる。	発色現像印画紙
172	186	ハッチョウトンボ	1987年	日本で最も小さなトンボ。	インクジェット・プリント
173	187	シオカラトンボ	1984年	田んぼの側溝から出た竹の先で翅を休める。	インクジェット・プリント
174	188	ベニイトトンボとオンバツ	2001年	草むらは、まるで高層ビル。葉の上と下では別世界。	インクジェット・プリント
175	189	ハンミョウ	1982年	道の上を低く、敏速に飛んでは、すぐ着地する。	発色現像印画紙
176	190	ツノアオカメムシ	1985年	葉の上から飛び立つところ。金緑色がとても美しい。	発色現像印画紙
177	192	アキアカネ	1981年	朝露がびっしりとつく田んぼのイネで羽化した。	発色現像印画紙
178	193	アカスジカメムシ	2002年	赤と黒のストライプが、とても鮮やかなカメムシ。	発色現像印画紙
179	194	ショウジョウトンボ	1999年	田んぼの中のため池に縄張りを持ち、他のオスがやってくると追いかける。	インクジェット・プリント
180	195	ハラビロカマキリ	1984年	秋の澄んだ光にとけこむように待つものがある。	発色現像印画紙

- ・ 作品はすべて今森光彦の所蔵である。
- ・ 作品図版のキャプションは、作家から提供された資料に基づき、作品番号、タイトル、撮影地・撮影年、コメントを記載した。

No.	作品番号	タイトル	撮影地・撮影年	コメント	プリント方法
181	196	オオカマキリ	1986年	カキの木の下で、落下した実にやってくる獲物を待つ。	インクジェット・プリント
182	197	オオカバフドロバチ	1983年	巣作りのための泥を運ぶ。別名“煙突泥蜂”ともいう。	発色現像印画紙
183	198	ホウジャクの幼虫	1981年	マツの葉に似た模様がとてもまぎらわしい。	発色現像印画紙
184	199	アキアカネ	1987年	秋、山から下りて、色づいたアキアカネのオス。	発色現像印画紙
185	200	ヨツボシトンボ	1989年	耕耘機のエンジン油がこぼれた溝に落下して死んだ。	発色現像印画紙
186	201	クサギカメムシ	1995年	黄葉したエノキの葉の上で日光浴をする。	発色現像印画紙
187	205	キタキチョウ	1998年	土手や雑木林の周辺の枯れ草の中で越冬する。	インクジェット・プリント
188	206	ナミアゲハのサナギ	1987年	朝、窓を開けると、一面に純白の世界が広がっていた。	インクジェット・プリント
189	207	オオカマキリ	1984年	クズの葉の上で休む。リラックスした姿がシルエットに現れた。	インクジェット・プリント